

<p>産業宣教: OMC時代の伝道者の生活の体験 (36)「初代教会の産業者の器」</p>	<p>聖日1講: 「石に打たれて死んだパウロ」(使14:19-28)</p>	<p>聖日2講: 「福音を福音として味わうなら、すべての問題が解決されます」 (使15:1-11)</p>	<p>伝道学: 伝道者の生活の体験 (36)「伝道者の器」(使4:29-31)</p>
<p>1. 福音の中にあることを知る人々 (1) ただ (2) 唯一性 (3) サミット</p> <p>2. ユダヤ、マケドニア、ローマを越える器 (1)ユダヤ人の民族主義を越えた器 ①使1:6-7, 8 ②使2:9-11 (2)マケドニアの迷信、偶像、宗教を越えた器 ①使13:1 ②使16:15 ③使19:1-7 (3)ローマの政治、未来を越えた器 ①使19:21 ②使23:11 ③使27:24</p> <p>3. 教会の器を広げた人々 (1) 使2:41-42 (2) 使11:1-18, 使11:19-30 (3) ロマ16:1-27</p>	<p>* 序論 ▲私たちが、ときどきとも憤りが爆発して、くやしいという場合がある。 こういうものが続けば、私たちには大きい問題になる。ユダヤ人らがアンテオケとイコニウムから人を引っぱって来て、パウロを石で打って殺した。このようなとき、私たちはどのようにするべきか。本質だけ分かれば、お餅の商売をしても成功することができる。ここに重要な本質3つをパウロが知っていた。 1.一度の人生-大きい困難には神様の大きい計画がある。 (1)アベルの死-アベルの殉教の血は今でも流れている。 (2)殉教しながら福音を伝えた預言者イザヤのことが今でも成就している。イザヤ6:13節-レムナントという重要な単語を捜し出した。 (3)ステパノの死-使徒11:19節はアンテオケ教会ができたが、にステパノの困難によって。。。 ▲人生は一度死ぬのだ。どのように生きて死ぬかが重要だ。私たちが一度の機会だ。本質をよく悟れば、神様の大きい計画がある。 (4)トーマス宣教師の死-韓国に一番初めて入ってきて福音を伝えて殉教した人がトーマス宣教師だ。 (5)チュ・キチヨル牧師の死-日帝時代のとき、教会をみななくそうするとき、殉教した人がチュ・キチヨル牧師だ。 2.大きな不幸と困難-重要な理由がある。 (1)なぜ地球上には不幸がずっとやってくるのか。神様を離れたためだ。この福音を言うために殉教にあったのだ。 (2)人間は絶対に3つ問題から抜け出せない ▲運命、サタン、地獄。それで解答であるキリストを送られた。この説明をするために死んだのだ。 (3)今、地球上に6つの災いがずっと起きている。 ▲創世記3章、6章、11章、使徒13章、16章、19章の問題が続いている。 この霊的問題はただ福音だけ解決されるために殉教したのだ。 (4)次世代は後ほど深刻化する。サタンが必死のあがきをするのだ。これを防ごうとするのだ。 (5)マタイ24章、25章、IIテモテ3章、ヨハネ黙示録に最後の時に起きることを預言している。今そのまま起きている。</p> <p>3.石に打たれて死んで生き返ったパウロ-死はない。 ▲さらに重要な本質を知っている。パウロは石に打たれて死んだが、生き返った。関係ない。人は死ぬのではない(使徒7:60)。 (1)ステパノの死に対する考えをした (2)なぜイエス様がこの地で苦難にあわれたのか分かった。 (3)それで、その翌日起きて、弟子を訪ねて行った。 (4)パウロがリステラで時代を動かす息子一つ得た。テモテだ。</p> <p>* 結論 ▲神様がなぜ迫害する者をそのまま生かすのか。あのような人間を殺そうとすれば死ななければならない。今日、みなさんがどんな問題を持っているのか。キリストにあって本質を正しく回復する祝福を味わわなければならない。そうすれば、大きい祝福の人に変わることができる。</p>	<p>* 序論 ▲実際に祈りの答えはどのように受けられるのか。福音を本当に福音として味わえば、すべての問題が解決される。神様のみことばが本当に神様のみことばで働いたら、すべての問題が解決される。伝道の中にすべてのあるのに、本当に伝道が正しい伝道になったらすべての問題が解決される。 ▲私たちに祈りの答えを受けるのに最も難しい部分があるのか。苦しいことが起こるときだ。 (1)外部ではとても迫害が起きて(ユダヤ人の錯覚) (2)内部ではいくらイエスを信じて、ユダヤ人が受ける割れを受けてこそ救われて、律法を守ってこそ救われると出てきた。教会内部に苦しいことがたくさん起きる。職場で友だちや同僚が苦しければとても苦しくなる。家で苦ししいことが起きれば、さらに狂うことだ。これで人々は祈りの答えをみなのがす。 (3)さらに深刻なのは、自分に対する苦しさだ。自分が思うとおりに行かなくてだめだ。 ▲今日、みなさんがこの3つの単語を(福音-福音、みことば-みことば、伝道-伝道)をよく考えてみることを望む。イエス様が「教えなさい」と言われず、証人になると言われた。証人ということは、証拠を持っているということだ。何の証拠なのか。本当に福音が福音になったら働きが起きる。 1.自分に福音が福音になる瞬間、働きが起きる。 (1)この地に人間を滅ぼすすべてのことがサタンの働きだ→それで神様がイエス様をキリストとして送られたんだなあ私たちが救って、のりをなくしてくださって、サタンの権威を打ちこわそうと。 (2)私ははたして救われた神様の子どものか。それなら、解決された→イエス・キリストは私の主だ。 (3)このときから祈りになる。聖霊が動かれるようになって→イエス・キリストがキリストになるのだ。 2.現場でみことばがみことばになる瞬間、神様の働きは始まる。 ▲みなさんは今から3つのことを味わって、人生ビジョントリップ3つをすれば良い。 (1)使徒2:41-7、五旬節の日になって-異言、新しい酒、炎のような風のような働き、断食、徹夜-私を越えた異なる世界を見るのだ。異なる世界とは何か。神様の働きだ。 (2)これが生活の中に伝えられるのだ。定刻祈り、このとき、礼拝をささげる時ごとに答えが出てくる。 (3)このときから、みなさんが祈りだけ持ってビジョントリップ(契約の旅)が始まる。 3.他人に伝道が伝道になるようになると、働きが起きる。 (1)神の国だと言う。 (2)確かに時刻表がくる。そのとき、話せば良い。 (3)3つの答え(ただ、唯一性、サミット)がけ付けてくる。</p> <p>* 結論 (1)使徒1:1節と結論が出てきて (2)使徒1:3、神の国 (3)使徒1:8、聖霊の満たし</p>	<p>1. 魂よりもっと大きなことを見た伝道者 (1)ユダヤ人の迫害と未来 (2)ユダヤ人のカとキリストの約束(使2:1-47) (3)ユダヤ人の神とマルコの屋上の間の教会(使3:1-12, 4:1-12, 4:29-31)</p> <p>2. 思想、理念を越えた世界を見た伝道者 (1)マタ28:16-20、マタ16:15-20, 使1:8 (2)使13:1-4, 16:6-10, 19:21 (3)ロマ16:1-27</p> <p>3. 一時的なことも永遠なことを見た伝道者 (1)マタ10:40-42 (2)マタ10:29-30 (3)ピロ3:1-20</p> <p>地域(区域)教材成長のための教会教育(マタイ28:19-20)</p> <p>▲教会を充実して、信徒の信仰を強固にしようとするなら、必ず徹底した信仰教育が必要になります。なぜなら、教育が正しく成れば教会は、より質的に美しい教会成長を期待できないからです。本文には主の3つの最後の言いつけがあるのですが、これを示して主の至上命を言います。 1.すべての国の人々を弟子としないよ! (1)主は本文19節で「すべての国の人々を弟子としないよ」と言われました。 ▲教育の対象は、すべての国の人々で、ここですべての国の人々とは、ユダヤ人と異邦人の限界が広いすべての民族を示しています。福音を受けなければならない対象は、このように広い範囲です。旧約時代イスラエルの預言者には、ユダヤの国の国難が描かれていたのですが、その枠を越えた恵みの時代のすべての福音の働き人には、世の中すべての民が福音宣教教育の対象になるのです。本来、キリストの真理は宇宙的であり、普遍的な性格を持っています。預言者イザヤは「万軍の主は御霊で言われる。『わたしの民イザヤ、わたしの手をつつたアッシリヤ、わたしのものである民イスラエルに』祝福があるように。』(イザヤ19:25)といったように、キリストの真理はすべての国の人々を網羅する普遍的な性質を持っています。 (2)弟子としないよ(19節)これは、特別に「教え」訓練をさせるということばです。 ▲福音真理の継続的な運動のためには、弟子教育がとても重要で切実な命題です。福音の働きの使命は、真理の守護の側面でも最も重要なことなので、弟子とする教育が非常に重要なのです。 (3)三位一体の神様は、伝道教育の主体者であり主題です。 ▲父と子と聖霊の御名によって(19節)三位一体の神様の名でバプテスマを与えるためには、先三位一体の教理に対する教育が必要です。三位一体の神様は、教育の主題であり、同時に教育の主体者です。それで三位一体の名前で洗礼を受ける者は、父を創造主親理の主と認めて告白しながら、御子こそ唯一無二のとなりし手とあがなひ主として受け入れることで、聖霊を聖なる者であり、懇め主として告白することです。 2.父と子と聖霊の御名でバプテスマを受けなさい! ▲バプテスマの意味と目的は何ですか。バプテスマを授け(19節)以下ということは、ギリシア語で「バプティチヨ」ですが、その意味は「洗う」「水で洗う」です。このことばは悔い改め、罪の赦しを受けて、キリストと一つになる心算が神様の外向的証言とすることができ、その意味は「衆生を洗うこと」「聖霊が御心してくださること」または「罪の赦し」「罪を洗うこと」と表したりもします。ところで、バプテスマは、キリスト教真理を教えた悟った次に施す聖礼なので、儀式以前に信託と教理に対する教育が必要なのです。</p> <p>3.すべてのことを教えるようにしなさい! (1)究極的福音は教育です。 ▲「すべてのことを教えるようにしなさい」(20節)は、みことばはイエス様から3年間見聞した教訓を継続して教えるべきというみことばです。すなわち、イエス様の弟子となった私たちが、彼が教えられた教訓と教理を継承し、そのまま受け入れて、主が再臨してこれらまで伝えなければならぬ使命があります。したがって、このような使命履行のためには、単純な伝道以上の教育が切実必要なのです。そして私たちがイエス・キリストを信じるようにさせることが重要という信念を持っています。そしてこそ、人々が親しく通ずることができると信じるためです。しかし、イエス様はここであなたを信じるようにさせると、すなわち伝道の領域を越えて、伝道された人が、その事実を信じて守るようしなさいとみことばを強調しておられます。教える受けなさい(19)御は盲目に陥れやすく、迷信に落ちやすいです。したがって、信仰と共に必ず教えるが並行されなければならないのです。 (2)弟子としないよというみことばも、これを強調したのです。 ▲弟子の本分が「信」であるためです。進んで学び教えるのに留まらないで「信」を守って行かないと言われました。教える教えるだけ続けられれば、それは何の意味がありません。必ず生活と人生で実践して現れなければならないのです。</p>
<p>核心: RUC時代の伝道者の体験 (36)「霊的サミットとレムナント」(詩78:70-72)</p>			
<p>1. 正常な生活と信仰生活 (1) 創37:1-11、創39:1-6、創40:1-20 (2) 出2:1-10 (3) Iサム1:9-11、Iサム2:1-10、Iサム3:1-18 (4) 詩78:70-72 (5) I列19:19-21 (6) イザ6:1-13 (7) ピリ3:1-8</p> <p>2. 神様の御前での霊的な生活 (1) 創39:2、出14:12-13、Iサム3:19、Iサム17:35-36 II列2:9-11、イザ43:18-21、IIテモ2:1 (2) 聖霊とサタン ①世の国(世の中) ②神の国 (3) 霊的な祝福を実際に味わう生活 ①RT7 ②初代教会</p> <p>3. 道を知る生活 (1) ただ(使:1, 3, 8) (2) 唯一性(使2:1) (3) サミット(使3:1)</p>	<p>1. 正常な生活と信仰生活 (1) 創37:1-11、創39:1-6、創40:1-20 (2) 出2:1-10 (3) Iサム1:9-11、Iサム2:1-10、Iサム3:1-18 (4) 詩78:70-72 (5) I列19:19-21 (6) イザ6:1-13 (7) ピリ3:1-8</p> <p>2. 神様の御前での霊的な生活 (1) 創39:2、出14:12-13、Iサム3:19、Iサム17:35-36 II列2:9-11、イザ43:18-21、IIテモ2:1 (2) 聖霊とサタン ①世の国(世の中) ②神の国 (3) 霊的な祝福を実際に味わう生活 ①RT7 ②初代教会</p> <p>3. 道を知る生活 (1) ただ(使:1, 3, 8) (2) 唯一性(使2:1) (3) サミット(使3:1)</p>	<p>1. 正常な生活と信仰生活 (1) 創37:1-11、創39:1-6、創40:1-20 (2) 出2:1-10 (3) Iサム1:9-11、Iサム2:1-10、Iサム3:1-18 (4) 詩78:70-72 (5) I列19:19-21 (6) イザ6:1-13 (7) ピリ3:1-8</p> <p>2. 神様の御前での霊的な生活 (1) 創39:2、出14:12-13、Iサム3:19、Iサム17:35-36 II列2:9-11、イザ43:18-21、IIテモ2:1 (2) 聖霊とサタン ①世の国(世の中) ②神の国 (3) 霊的な祝福を実際に味わう生活 ①RT7 ②初代教会</p> <p>3. 道を知る生活 (1) ただ(使:1, 3, 8) (2) 唯一性(使2:1) (3) サミット(使3:1)</p>	<p>1. 正常な生活と信仰生活 (1) 創37:1-11、創39:1-6、創40:1-20 (2) 出2:1-10 (3) Iサム1:9-11、Iサム2:1-10、Iサム3:1-18 (4) 詩78:70-72 (5) I列19:19-21 (6) イザ6:1-13 (7) ピリ3:1-8</p> <p>2. 神様の御前での霊的な生活 (1) 創39:2、出14:12-13、Iサム3:19、Iサム17:35-36 II列2:9-11、イザ43:18-21、IIテモ2:1 (2) 聖霊とサタン ①世の国(世の中) ②神の国 (3) 霊的な祝福を実際に味わう生活 ①RT7 ②初代教会</p> <p>3. 道を知る生活 (1) ただ(使:1, 3, 8) (2) 唯一性(使2:1) (3) サミット(使3:1)</p>

(1) 聖日1部(9月8日)→ 足のなえた人を癒す(使14:8-10)

▲人生の道を行く間、神様がくださった、ただキリストの重要な約束を握って、人の話に揺れず、聖霊がともにおられる祝福を味わうようにさせてくださったことを感謝します。ただキリストならばよいというペテロの信仰のように、私の生活の現場でこの福音の力を体験するようにさせてください。パウロのように救われた者の信仰の確信を持って、堂々とキリストの御名を宣言しながら、その力を味わうことができますように。神様の子どもになった自尊心、自尊心、自分を誇る心持って、歩みごとにサタン、災いが離れる聖霊の働きをあかしさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(2) 聖日2部(9月8日)→ 大きな答えを受ける者の中心(使14:11-18)

▲大きい答えを受ける者としてサタンが攻撃する通路を知って、神様中心の生活を送るようにならせたことを感謝します。ヨセフのように、神様中心に祈って世界が見えるようになる答えを味わいながら、神様の導きを受けることができますように。ダビデのように、神様中心に時代が見えるようになる答えの中で、福音と実力をそそえた伝道者として立つことができますように。伝道と宣教の祝福を見ながら、毎日、使徒1章1節、3節、8節を味わうインマヌエルの証人になるようにさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(3) 伝道企画チーム(9月8日)→ 地域(区域)教材36課:伝道と教会復興(使徒1:6-11)

- ①神様が私を通した計画、私ができる、私に合う伝道を探しなさい。伝道は素晴らしい人間関係の祝福が連結することで、その人個人に合うように私が答えを伝えることだ。それで私だけが祈り、私だけが祈る祝福を探しなさい。結局、神様がくださった道しるべ(マタイ28:16-20、マルコ16:15-20、使徒1:8)を持って「ともに」を伝えるのが伝道だ。
- ②伝道は使命(内容)だ。ところで、対象(現場)が多様だから、対象により、年齢により、違うようにしなければならない。証人(方法)になると、神様が証人をくださって私たちが証人を持っていく証人になる。
- ③3つの証人を持って(マルコの屋上の間にあった根本的的祝福、ペテロに現れた伝道の祝福、パウロに現れた宣教の祝福)私に備えられている神様の計画を探しなさい。

(4) テキコチーム(9月8日)→ 残した事、現場(準備)、学校

- ①残した事-イエス様がなさったみことばを必ず記憶しなければならない。使徒1:3(神の国-答え)、使徒1:14(集中祈り)、使徒2:1-47(聖霊の働き-答え)、ローマ16章(サミット)
- ②現場(準備)-現場でどのように神の国が適用されるのか。使徒1:14、使徒2:9-11、使徒2:41(神様が備えられたことを見るのだ)使徒8:1-3、4-8、26-40(この現場に必ず臨む神の国がある。これを捜し出すのだ)使徒13:1-4、使徒16:6-10、使徒19:21(神様の計画を悟って捜し出すのだ)
- ③学校現場-子どもたちに3つで答えを与えなさい。個人化させてあげなさい(カウンセリング)。10%、1%、唯一性に行くように指導しなさい。その中で霊的な弟子を捜し出して、サミットに行くようにさせてやりなさい。

(5) 江南(カンナム)地域集中伝道集会(9月12日)→

▲1講:のがしたことを探せ!

- ①序論-伝道現場に行ってみたことがない人々が90%だ。決してできないということは、霊的問題が来ているということだ、サタンの攻撃を受けたということだ。サタンはどこを攻撃するのか。空席(崩れた席、マタイ12:44)を攻撃する。それで空席に聖霊が臨んで、神の国臨むように答えを与えるのが伝道の核心だ。
- ②今から私のことをはやく捜し出しなさい-使徒1:1、救われた私の人生ストーリー。使徒1:3、私と現場に向かった神様の計画-神の国。使徒1:8、聖霊の満たしに対する私の方法を探しなさい。
- ③このとき来る答えが「ただ」だ-使徒2:1-47、使徒3:1-12、使徒4:1-12、使徒7:54-60、使徒8:4-8、使徒8:26-40、使徒11:19。
- ④今、私が体験しているのは苦痛ではなくて、唯一性へ行く道で、未来を見る道だ(ペテロ、パウロ、ルカ、ガイオ、ピレモン-唯一性の答えが来たのだ)
- ⑤結論-1コリント1:18-31十字架の力、1コリント2:10-12恵み、IIコリント12:1-10深い祈り。聖霊の満たしに対する私の方法を必ず探さなければならない(幸せ、力、答えが出てくるように)

▲2講:マルコの屋上の間の集中訓練-人生ビジョントリップ

- ①序論-マルコの屋上の間の集中訓練を通して人生ビジョントリップが始まった。使徒1:1、3、8節はすでに私のことで、神様がくださったのだ。これを私のことに、私の方法で探す開始が重要だ。
- ②刻印されたことを変える開始をしなさい-個人に聖霊の満たしの働きが必要だ(集中と私だけの聖霊の満たしの方法)
- ③聖霊の満たしの体験を私の生活に伝えなければならない-定刻祈り、常時祈り、礼拝祈り
- ④祈りでビジョン旅行を始めなさい-3つの今日(祈り、みことば、伝道)、レムナント7人と信仰の英雄を見なさい。
- ⑤結論-このとき、3つの体質が変わる(肉体的体質、精神的体質、霊的体質)

▲テキコ:地教会

- ①神の国が臨むのに重要な部分は、神様のみこころ、神様の時刻表を見て、現場とその人に対する十分な理解をしてお手伝いするのだ。
- ②人生ビジョントリップの内容を持って一人でして(使徒1:1、3、8、3つの今日)、会う人とともにして(使徒2:9-11、使徒2:41)、職分にしたがってすれば、ずっと門が開く。
- ③一般信徒指導者は、神学背景を勉強して、講壇メッセージを正しく理解して、一般信徒に伝えてあげて、牧会者を助ける人、同労者、家主にならなさい。
- ④結論-地教会は神の国を成し遂げるようにすることだ。その現場とともに参加した人々とともに、人生ビジョントリップを始めるのだ。牧師先生が行けない所に牧師先生の代わりに、指導者役割をしてあげるのだ。

(6) 産業宣教(9月14日)→ 伝道者の生活体験(36)-初代教会の産業人の器

- ▲器の大きさだけ入れられて、高く上がっただけに見えて、遠く行っただけに多くのことを見るようになる。それで、全体をみな理解して配慮する人、それとともに自分は現わさなくて、他の人を立てる人を探す。人材は前、横、後、過去、未来を見るべきだ。
- ①福音の中にあること(ただ、唯一性、サミット)を分かる人にならなさい。
 - ②ユダヤ(民族主義)、マケドニア(文化)、ローマ(政治)を超越する器にならなさい。
 - ③教会の器を広げる人にならなさい。(使徒2:41-42、使徒11:19-30、ローマ16:1-27)
 - ④結論-確実な私のものがなければならぬ(主観性-専門性、客観性-合理性、霊性-奥義、連合性- Oneness、多様性-復興)

(7) 伝道学(9月14日)→ 伝道者の器(使徒4:29-31)

- ①重職大学院-私のこと(使徒1:1、3、8+ただ+唯一性)
- ②地域伝道専門キャンプ-人生ビジョントリップ(聖霊の満たし+生活+祈りトリップ)

(8) 核心訓練(9月14日)→ 伝道者の生活体験(36):霊的サミットとレムナント(詩78:70-72)

- ▲無能、貧困、病気、破綻、霊的問題からどのように抜け出すのか-私のことを探しなさい(使徒1:1答え、3つの計画-国、8つの味わうこと)。そうすれば、私の行くべきところが見える(使徒3:1、4:1、6:7、11:19、13:1-4、16:6-10、19:21、ローマ15:23)。それで人生ビジョントリップが始まるのだ(マルコの屋上の間の働きを毎日体験、生活に連結-定刻/常時祈り/礼拝、人生旅行開始)
- ①正常な生活と信仰生活を教えなさい-主観性、客観性、霊性、連合性、多様性
 - ②神様の前で霊的な生活になるようにしてあげなさい-肉体的と霊的、聖霊とサタン、霊的祝福を実際に味わう生活(器準備、エリートへ行く道)
 - ③道を知っていなければならない-ただ、唯一性、サミット
 - ④結論-ダビデとパウロを模範にしなさい(常に喜び、常に祈り、常に感謝)

(9) 地域(区域)教材(9月14日)→ 成長と教会教育(マタイ28:19-20)